

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

令和4年3月31日

提出区分	新規	整理番号	21	課題区分	C			
横断的な課題	地域資源を活かしたエネルギー転換、CO2排出抑制							
地域重点政策						木曾地域振興局		
実施機関	木曾地域振興局総務管理・環境課			担当課	所属	総務管理・環境課		
事業名	木曾地域の特性を活かして2050ゼロカーボンを実現しよう！				電話	0264-25-2234(2283)		
					E-mail	kisochi-kankyo@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	未来を担う子ども達(小学校高学年)がエネルギーの地産地消をはじめゼロカーボンについて関心を持ち、率先して取り組めるようにする。						
	現状と課題	<p>[現状] 木曾地域は地域の約93%を森林が占め、また木曾川への急流な支流も多く、バイオマスや小水力といった自然エネルギーが豊富な地域である。また、地域内におけるエネルギー消費量が少ないことからエネルギーの地産地消が可能であり、木曾地域においてゼロカーボンを実現するにはエネルギー地産地消を更に進めていく必要がある。</p> <p>[課題] 木曾地域の恵まれた自然を後世に引き継ぎ、ゼロカーボンを実現させるためには、一人ひとりが自分事として意識を高め、息の長い取組を進めていかななくてはならない。特に、未来を担う子ども達が率先して取り組めるよう、関心を持たせる必要がある。</p> <p>また、森林の多い木曾地域では、ゼロカーボン達成のために森林を適切に整備し、森林資源を積極的に活用していくことが重要である。</p>						
	内容 (変更後の内容)	<p>[事業内容] 小学生高学年向けのエネルギーの地産地消やゼロカーボン達成に向けた取組に関するパネルを作成し、学校において授業や玄関前の掲示等で活用してもらう。また、学校の要望に応じて出前講座を実施する。さらに、掲示用のイーゼルに木曾産材を用いることで、子ども達に森林資源の活用について触れてもらうとともに、森林整備や地元産業の振興を図る。</p> <p>[作成するパネル] ①エネルギーの地産地消、ゼロカーボンとは？、このままだとどうなるのか？、世界の現状、木曾地域の特性等(2枚) ②木曾地域の各町村が実施している再生可能エネルギーの取組(2枚) ・木質バイオマス(木曾町)、小水力発電(上松町)など(1村1自然エネルギープロジェクトより) ・町村に聞き取りを行い、優良事例を選出 ③地域を越えてゼロカーボン達成に向けて私たちが今すぐに行えること(1枚) ・信州ゼロカーボンBOOK(県民編)など</p>						
事業期間								
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	パネル作成	デザイン制作(5種類)	49,500	9,900円/種 木曾オールプリント(株)				
		A1サイズポスター印刷(5枚)	19,250	3,850円/枚 木曾オールプリント(株)				
	掲示用資機材購入	木曾産材を活用したイーゼルの購入(5台)	99,000	19,800円/台				
合計		167,750						
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	小学校へのパネル展示、出前講座の実施等(9校中)		5校	0校(2団体へ貸し出し)	○ 達成			
					○ 一部達成			
					● 未達成			
事業実績・成果	<p>本事業については、コロナウイルスの影響により当初の計画の変更を余儀なくされて年度末近くでの事業実施となり、教育委員会を通してパネルの活用について学校へ周知したが、学校行事やコロナ感染者の急増が重なったことから、学校での貸し出しへは結びつかなかった。役場など2団体に貸し出し、ロビー等に掲示するという形での活用にとどまり、出前講座は実施できなかった。</p>							
今後の方向性	<p>コロナウイルスの状況を見て再度学校へ周知をし、出前講座での活用を促す。また、学校以外の団体へもイベント等での活用を促す。</p>							